

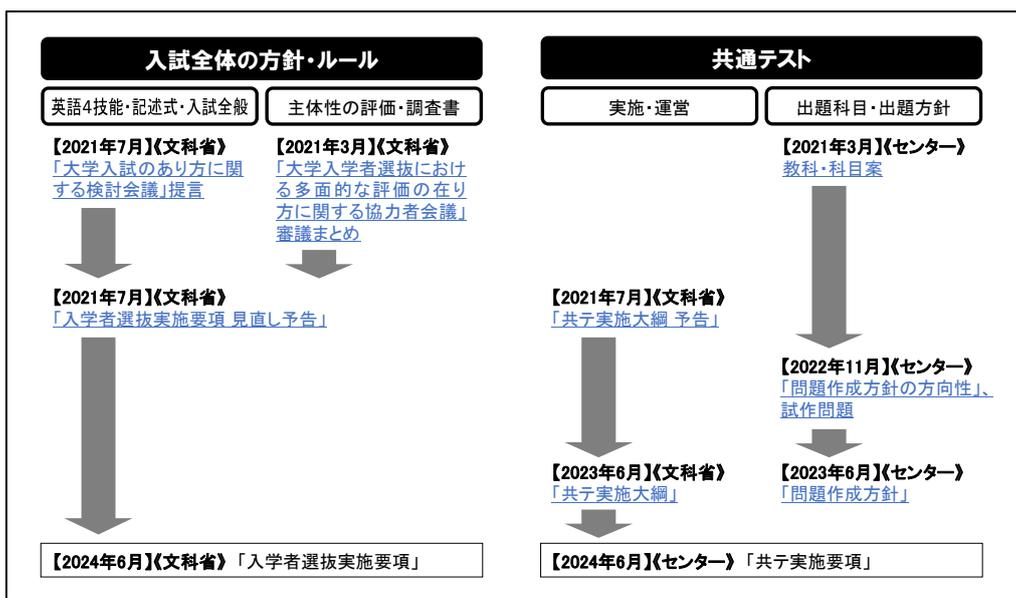
# 新課程入試「入学者選抜実施要項」 &「共通テスト実施要項」公表！

共テ詳細確定！追試は1週間後、大学への成績提供は2月4日以降！

旺文社 教育情報センター 2024年6月13日

いよいよスタートする2025年新課程入試について、文科省は今月5日に「入学者選抜実施要項」を、大学入試センターは7日に「共テ実施要項」を公表した。これで新課程入試に関わる国からの発表はすべて出揃ったことになる。内容的にはこれまで発表されてきたものとほとんど変わらないが、共テの追試や大学への成績提供の細かな日程などが明らかになった。

●これまでの流れ(主なもののみ。青字はそれぞれの解説記事にリンク)



本記事では「入学者選抜実施要項」「共テ実施要項」について新たに発表された内容を中心に見ていこう。

## 入学者選抜実施要項

入学者選抜実施要項はその年の入試について、基本方針やルールを定めたもの。今回はあらかじめ3年前に「見直し予告」が公表されており、内容はほぼそれを踏襲している。新たな発表は共テの追試日程のほか、いくつか追記がなされたくらいだ。

※「見直し予告」ですでに発表されている内容はこちらの記事を参照。

⇒ [「2025年新課程入試 概要決定！」\(2021年8月6日記事\)](#)

## ● 共通追試験の日程

【共通】本試験；2025年1月18、19日 ⇒ 追試験；1月25、26日（本試の1週間後）

共通の追試はもともと本試の1週間後だったが、新型コロナの影響で2021年から昨年までの4年間は2週間後に行われた。それが今回、元に戻った形になる。

## ● 基本的な入試日程

これは昨年までと同じだし、すでに「見直し予告」でも発表されているが、入試の根幹部分なので改めて確認しておこう。

- 【個別学力検査】 試験日＝2月1日～3月25日、合否発表＝3月31日まで。  
（一般選抜のほか、総合型、推薦型で個別学力検査を課す場合も同）
- 【総合型選抜】 出願＝9月1日以降、合否発表＝11月1日以降。
- 【学校推薦型選抜】 出願＝11月1日以降、合否発表＝12月1日以降で一般選抜の試験日10日前まで（共通課す推薦の場合は一般選抜の前日まで）。

## ● 記述式、外検、主体性の評価

これもほぼ「見直し予告」ですでに公表された内容だが、もともとは2025年入試の最大の注目ポイントだったので見ておこう。2021年の入試改革で改革半ばだった「記述式」「英語の外部検定（外検）」「主体性の評価」はそれぞれ以下の結論になった。

- 【記述式】 各大学が「可能な範囲で取り入れることが望ましい」とした。
- 【外検】 昨年までの記載と変わらず（大学に対して資格・検定試験を活用することが望ましいとしたうえで、その第一の例として外検を挙げる）、大学に活用をこれまでよりも強く促す内容にはならなかった。一方で家庭環境や居住地域によって外検受験が困難な志願者への対応を講じるように追記した。
- 【主体性の評価】 全体的にトーンダウン。特に一般選抜についてはこれまでは調査書や本人記載の資料を「積極的に活用」としていたが※1、その記述がなくなった。また、調査書は様式が大幅に簡素化された※2。

※1.昨年までの入学者選抜実施要項は、調査書や本人記載の資料の活用については2017年7月発表の（前回の）見直し予告を参照する構成になっていて、そこでは一般選抜でも「積極的な活用を促す」としていた。

※2.2021年の入試改革では主体性をより評価できるように調査書の記入項目が細分化されたが、教員の働き方改革もあり、数年で逆方向へ。簡素化の内容は前ページ [2021年8月6日の記事リンク](#) を参照。

## 共テ実施要項

共テ実施要項はその年の共テの日程、検定料、出題教科・科目など、高校（教員）や大学に対して共テを受験、利用するうえで必要な実施概要をまとめたもの。多くの内容はすでに「共テ実施大綱」や「問題作成方針」などで発表されているが、細かな日程や検定料などが明らかになった。

※すでに発表されている内容はこちらの記事を参照。

⇒ [「新課程 共通テスト『問題作成方針の方向性』公表！」\(2022年12月6日記事\)](#)

※上記の記事以降に発表になった問題冊子の構成等はこちらの記事を参照。

⇒ [「新課程 共通テスト『問題作成方針』公表！」\(2023年6月16日記事\)](#)

### ●共テの日程

【大学への過年度の成績提供】 2024年6月3日～2025年3月31日

2024年9月25日～11月29日、2025年1月17日～2月3日を除く。

【受験上の配慮の申請】 8月1日～10月7日

【受験案内の配付】 9月2日から

【検定料の払込】 9月2日～10月7日

・3教科以上=18,000円

・2教科以下=12,000円（いずれも昨年同）

【出願】 9月25日～10月7日

出願時に申請する受験教科は以下のもの。「地公の新 or 旧課程」「理科の科目数」が今回新しい。地公は問題冊子が新旧で分かれているため（ほかは同じ冊子）。理科の科目数はこれまでのA～Dパターンの科目選択方法がなくなったためだ。

⇒ 受験教科名／地公は新課程か旧課程か／地公、理科の科目数※／外国語の独仏中韓の受験希望の有無／数学②旧課程の旧簿記・会計、旧情報関係基礎の受験希望の有無。

※理科の「物基／化基／生基／地基」はこの中から2つ選んで解答するが、あわせて1科目とカウント。地公の「地総／歴総／公共」も同様。

【確認はがきの送付】 10月下旬まで

【受験票等の送付】 12月中旬まで

【出願後の不慮の事故等による受験上の配慮の申請】 1月15日まで

【本試験の実施】 1月18日、19日

【平均点等の中間発表】 1月22日（予定）

【スタナインの発表】 1月24日（予定）

【得点調整の有無】 1月24日（予定）

対象科目を拡大（経過措置科目も対象に）。実施条件、調整方法を変更※。

※詳細は本ページ上の [2022年12月6日の記事リンク](#) を参照（当時「案」とされていたものがそのまま確定）。

【追試験・再試験の実施】 1月25日、26日

P.2 に示したとおり、実施日が本試の「2週間後⇒1週間後」に戻された。

追試の試験場は全国で2か所に。以前も原則2か所だったが、2021年～2023年は新型コロナへの対応として全都道府県に設けられた。2024年に2か所に戻す予定だったが、能登半島地震への対応として金沢大などにも設定された。

【大学への成績提供】2月4日以降

・大学が入試センターに払う成績提供手数料=1人1回1,500円(昨年同)  
提供開始日は日にちで見るとここ数年とあまり変わらないが(2021年～2024年は2月5日～8日ごろ)、本試終了日から数えると6日前倒しになり、新型コロナ前のスケジュールに戻った。

新科目の「地総/歴総/公共」は、受験生が選択した2分野の①それぞれ、②合計につき、いずれも得点とスタナインが提供される(理科の「物基/化基/生基/地基」と同)。

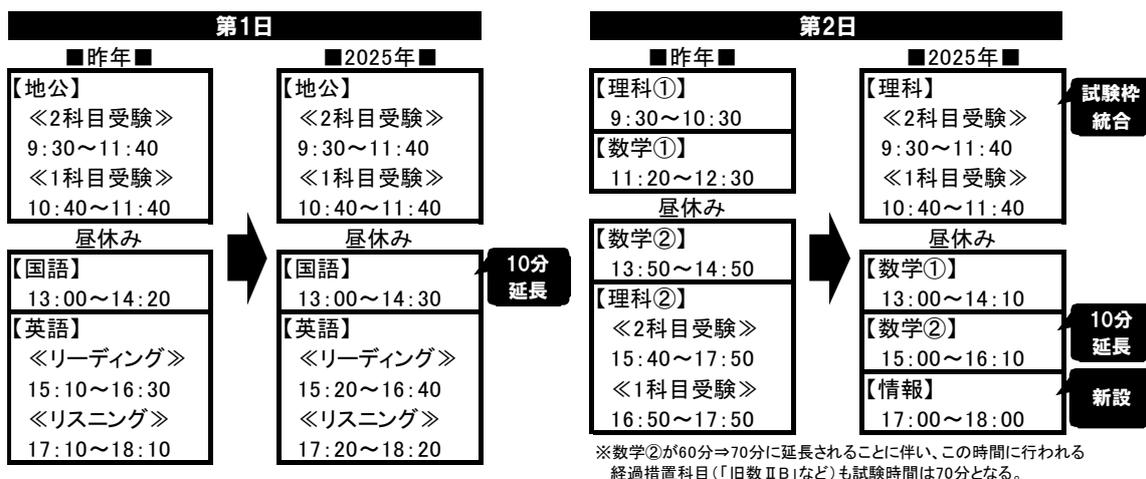
【平均点等の最終発表】2月6日(予定)

【大学入試センターによる成績通知】4月1日以降

・成績通知手数料=800円(昨年同)

【大学による成績開示】4月1日以降

● 共通の時間割



時間割は「問題作成方針の方向性」(2022年11月9日)の際にイメージとして公表されていたものがそのまま確定となった。新設「情報」の試験枠は旧理科①と②を統合することで捻出した。

● 共通の新課程科目

出題教科・科目についても内容はすでに公表されているが、旧課程と比較しながら改めて見ておこう。

※経過措置科目は割愛。P.3の [2022年12月6日の記事リンク](#) を参照。



